

平成 2 2 年度

(第 3 / 3 回)

(地域別研修)

南東欧地域

農業協働セクターの連携・活性化による
農産物市場経済強化

実施要領

平成 2 2 年 9 月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

目 次

1. 案件基本情報	1
2. 案件の背景・目的	1
3. 案件目標	2
4. 単元目標	2
5. 研修成果品	2
6. 研修員参加資格要件	3
7. 研修実施体制	3
8. 研修の評価	4
9. 研修付帯プログラム	5
10. 主な宿泊場所	5
11. その他	6

参考資料

- 付表－1 研修員関連情報
- 付表－2 カリキュラム（案）
- 付表－3 研修日程（案）
- 付表－4 年度別受入実績表

1. 案件基本情報

(1) 案件名

和文：(地域別研修) 南東欧地域 農業協働セクターの連携・活性化による農産物市場
経済強化

英文：Region Focused Training Program on “Strengthening of Agricultural Market
Economies through Enhanced Collaboration Sectors in Southeast European
Countries”

(2) 受入期間

平成 22 年 9 月 5 日（日）～ 10 月 23 日（土）

(3) 技術研修期間

平成 22 年 9 月 13 日（月）～ 10 月 22 日（金）

(4) 受入人数、割当国

受入人数：8 名

割当国：アルバニア（3 名）、セルビア（2 名）、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、
ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチア

(5) 研修類型：課題解決促進型

(6) 使用言語：英語

2. 案件の背景・目的

これまでの「南東欧農産物市場経済」コースでは、南東欧諸国における市場経済体制への円滑な移行に係わる人材育成が目的であった。しかしながら今日、同諸国における農業の課題は、移行した市場経済の中で、いかに自主的な課題対応力を高め、競争力を持続していくかという対応に迫られている。このような農産物の生産・流通の課題に対応できる人材育成が新たな課題である。

さらに帰国研修員のアンケート結果によれば、生産者間の連携組織化、リーダーの育成、加えて同諸国に残存する協同組合に対する抑圧的・差別的な固定概念を考慮した生産・流通関係者の信頼醸成と連携・活性化による協働セクター*の整備が必要とされている。

*協働セクターとは、農産物の生産・流通に関わって目標や課題を共有する個人・集団を繋ぐ機能を有する社会単位である。

3. 案件目標

協働セクターの連携・活性化による農産物市場経済を強化するための行動計画案が所属組織により作成される。

4. 単元目標

- (1) 日本における農山村の現状・課題を説明できる。
- (2) 日本における農産物の生産・流通および貿易システムを説明できる。
- (3) 日本の農産物の市場経済対応における協働セクターの活動を説明できる。
- (4) 自国での農業分野における協働セクターによる農産物市場経済対応が可能な行動計画案を作成できる。

5. 研修成果品

ア) 本邦研修実施前

「初期報告書 (Inception Report)」の作成

研修の主題にかかる研修員および所属組織の課題やそれに対する現在の組織としての対策・枠組みをまとめ、本邦でのコース開始時に発表する。

イ) 本邦研修終了時

「中間報告書 (Interim Report)」の作成

研修で学んだ知識や技術等を基に「4. 単元目標」にかかる自国の行動計画 (案) を作成し、コース終盤に発表する。

ウ) 帰国後の事後活動

「最終報告書 (Final Report)」の作成

研修員は帰国後、中間報告書に書かれた自国の行動計画（案）を所属組織に報告、関係者と共有のうえ、最終的な行動計画（案）をまとめ、帰国後３ヶ月以内に JICA 帯広に提出する。JICA 帯広は同報告書を関係者と共有のうえ、次年度以降に実施される研修に内容をフィードバックし、必要に応じフォローアップを検討する。

6. 研修員参加資格要件

（募集要項記載条件）

- ア. 中央ないしは地方政府、非営利組織の職員。
- イ. 農産物生産流通に関して３年以上の経験を有する者。
- ウ. ４０歳未満の次世代のリーダーないしリーダーになることが期待される者。

（各案件共通資格要件）

- エ. 所定の手続きにより割当国政府から推薦されること。
- オ. 大学卒業あるいは同等の学力を有すること。
- カ. TOEFL iBT 72 点（CBT 200 点／PBT 533 点）以上に相当する英語能力を有すること。
- キ. 心身ともに健康なこと。
- ク. 軍に属していないこと。

7. 研修実施体制

本案件は、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構帯広国際センター（JICA 帯広）が計画するコースの実施に関する業務を社団法人北方圏センター（NRC）に委託し、関係諸機関の協力により実施・運営する。技術研修期間中、財団法人日本国際協力センターJICE 所属の研修監理員を配置する。具体的業務分担は次のとおり。

（1） JICA 帯広

- ア. 実施計画書作成（案件目的、案件目標、研修期間等）
- イ. 評価
- ウ. 実施予算の執行管理

エ. 募集要項および実施要領等の作成 等

(2) NRC

ア. 日程表の調整・作成

イ. 講師、視察先等への連絡・確認

ウ. テキスト、資料等の手配 等

(3) コースリーダー

研修の計画、実施、評価の全般にわたる助言 等

(4) 研修監理員

ア. 関係者間の連絡調整

イ. 通訳・翻訳 等

8. 研修の評価

(1) 評価の目的

案件目標（2 頁参照）に基づき、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本案件の質的改善を図る。

(2) 評価の方法

ア. コースリーダー等による到達目標の達成度把握

イ. 研修員が提出する質問票による評価

ウ. JICA による評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

9. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

来日直後に帯広国際センター（以下 OBIC: Obihiro International Center）で実施する。JICA 業務およびコース概要説明、研修員登録、旅券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

OBIC で実施し、日本の社会と日本人、歴史・文化、政治・行政、経済、教育などを紹介する。

(3) 日本語講習

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として 10 時間の日本語講習を実施する。

付帯プログラム日程（予定）

日 程	内 容
9 月 6 日（月）	ブリーフィング
7 日（火）	ジェネラルオリエンテーション
8 日（水）	ジェネラルオリエンテーション
9 日（木）	日本語講習
10 日（金）	日本語講習

10. 主な宿泊場所

帯広国際センター（OBIC）

所在地：〒080-2470 帯広市西 20 条南 6 丁目 1-2

Tel (0155) 35-2001 Fax (0155) 35-2213

11. その他

(1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

(3) 国際理解教育

国際理解教育の支援のため、本コースに地域の小中学校の生徒や住民との相互理解のためのプログラムが一部含まれている。

以上



独立行政法人国際協力機構 帯広国際センター
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2
TEL : 0155-35-1210 FAX : 0155-35-1250
ホームページ : www.jica.go.jp/obihiro/
メール : jicaobic@jica.go.jp

研修員関連情報

研修員情報(英語力はリスニング／スピーキング／記述読解能力の順に4段階で示す。A:優、B:良、C:可、D:自信なし)

No	①氏名②研修員番号 ③年齢④性別 ⑤国名、県又は地名	①現職②現職期間 ③最終学歴(専攻) ④英語力⑤研修経験	①所属先の業務内容 ②候補者の業務内容	①組織課題 ②個人課題
1	① Dr. SKRELI Engiell ② D-10-04739 ③ 50 ④ 男性 ⑤ アルバニア	① ティラナ農業大学農業・経済学部 講師 ② 4年 ③ ティラナ大学農業経済学部(農業経済) ④ ABAB ⑤ ・JICA(中東欧諸国貿易促進国際セミナー) ・アメリカ商務省(貿易政策)	①ティラナ大学農業経済学部; 農業および農村開発における競争力強化 ・競争力強化に必要なとされる社会資本形成分野の専門化養成 ・農業部門への専門的助言、コンサルタント ②・教授、研修、コンサルタント	①・協働活動決定要因 ・アイデア、意見交換により他国の経験を学ぶ ②・社会資本形成
2	① Mr. SHYTAJ Festim ② D-10-04741 ③ 41 ④ 男性 ⑤ アルバニア	① 農業食品消費者保護省(MAFCP)農業政策局農業生産政策部畜産課専門官 ② 1年 ③ ティラナ大学 ④ BAAB ⑤ フランス農業省	①・農業食品市場の機能改善および競争力強化 ・EU基準に基づく食品安全、衛生改善および消費者保護 ・EU基準に基づく獣医、植物衛生に関する規制の枠組みおよびサービス改善 ・農村基盤整備および農村住民の生活水準改善 ・土地市場機能開発 ・自然資源保護 ・ヨーロッパ統合過程支援のためのMAFCPの組織力強化 ②・政策ドラフト作成 ・畜産開発プログラム支援対策の提案 ・国家開発政策およびEU統合枠に基づいた農産物に関する法案整備 ・畜産開発の傾向評価および開発のための優先事項と方策の決定	①・公共地方インフラが未整備 ・市場情報システム環境が未整備 ・農業者が組織化されておらず、生産者グループが出来たばかりである ・小規模農業者は、いまだに農作業の全てを手作業で行う ・小規模農業者のための職業訓練学校を設立する必要がある ・食品安全法が施行されていないので輸出が出来ない ・市場開発活動の欠如 ・販路拡大-スーパーマーケットの成長が予測される ②記載なし
3	① Mr. ALTIN Zeqo ② D-10-04776 ③ 34 ④ 男性 ⑤ アルバニア	① 農業食品消費者保護省国土・水管理局通商部マーケティング・マーケット課課長 ② 1年 ③ ティラナ大学経済学部(ヨーロッパ経済研究) ④ BBBB ⑤ なし	①・農業生産の持続的成長を支援する政策立案、実施 ・EU基準に基づく農産物および消費者保護に関する法整備 ・農地の持続的管理運営 ・農業者支援および農業情報提供 ②・政策ドラフト作成および食品流通チェーンの分析 ・農産物加工産業への投資の必要性識別および投資刺激 ・EU基準に合致した貿易基準に関する国内法の整備 ・マーケティングネットワークの有効性に関する研究	①・公共地方インフラが未整備 ・市場情報システム環境が未整備 ・農業者が組織化されておらず、生産者グループが出来たばかりである ・小規模農業者は、いまだに農作業の全てを手作業で行う ・小規模農業者のための職業訓練学校を設立する必要がある ・食品安全法が施行されていないので輸出が出来ない ・市場開発活動の欠如 ・販路拡大-スーパーマーケットの成長が予測される ②・営農支援システム ・農村地域における社会経済問題 ・協働活動問題 ・農業情報システム ・技術開発システム

4	① Ms. BOROVINA Sanida ② D-10-05018 ③ 27 ④ 女性 ⑤ ボスニア・ヘルツェゴビナ	① 貿易・経済省農業・食品・林業・農村開発局調査担当専門官補佐 ② 1年 ③ 経済学部(銀行/保険) ④ ABAB ⑤ なし	①・農業、食品、農村開発部門の政策、アクションプランの実施、モニタリング、評価 ②・WTOなどの国際協定に関する交渉、討議に必要な資料提供、協力 ・農産物に関する貿易、外国為替の分析 ・EUの支援によるIPAプロジェクトのドラフト作成 ・WTO加盟国による質問状への回答 ・EU、CEFTA加盟国、自由貿易協定調印国への公衆衛生および植物衛生規制に関する報告書提出	①・持続的農産物市場経済に関連する問題に対応できる人材開発 ②・農村地域の問題と現状把握 ・農産物の生産、流通システムおよび外国貿易 ・農産物市場経済導入のための協働セクターの活動 ・アクションプラン作成
5	① Ms. DOKIC Lelena ② D-10-04803 ③ 28 ④ 女性 ⑤ クロアチア	① 農業水産・農村開発省農業政策・国際関係局担当補佐官 ② 1年 ③ 人類・社会科学学部(英文学・人文学) ④ ABAB ⑤ なし	①・二国間協力を通じた各種農業プロジェクトの準備・調整 ・プロジェクト実施の準備調整 ・国際見本市、展示会、発表会への参加 ②・地中海沿岸国およびヨーロッパ以外の国との協力関係構築および強化に関する活動 ・国際協定に関する文書作成および2国間協力に関するレポート作成 ・閣僚級会議の設置・調整	①、②ともに記載なし
6	① Mr. DJURJEVIC Dusan ② D-10-05126 ③ 32 ④ 男性 ⑤ セルビア	① 農林水管理省監察局検査官 ② 2年 ③ ペオグラード農業大学(食品工学) ④ ABAB ⑤ Sacco Clerricy(イタリア/食品産業市場)	①・農地査察 ・植物衛生監視 ・食品安全監視および法規制の整備 ・食品安全に関する危険分析 ②・食品安全検査 ・農産物および食品の品質検査	①・食品の種類が不十分 ・不十分な調査研究活動 ・品質基準の無視または欠如による品質のばらつき ・近代経営、マーケティング導入などのビジネス市場への対応の遅れ ・食品産業と原料生産者との長期的合意の欠如 ②・近隣諸国との協力関係構築
7	① Mr. BOJKOVIC Nenad ② D-10-05127 ③ 24 ④ 男性 ⑤ セルビア	① 農林水管理省監察局農地・政策部チーフアシスタント ② 1年 ③ ペオグラード大学組織科学学部(管理) ④ BBBB ⑤ なし	①・農地査察 ・植物衛生監視 ・食品安全監視および法規制の整備 ・食品安全に関する危険分析 ②・プロジェクト構築 ・農家に対するビジネス、国家補助プログラム申請等の助言 ・農家と加工産業間の対話	①・食品の種類が不十分 ・不十分な調査研究活動 ・品質基準の無視または欠如による品質のばらつき ・近代経営、マーケティング導入などのビジネス市場への対応の遅れ ・食品産業と原料生産者との長期的合意の欠如 ②・地方分権システムがどのように機能するか ・市場の効率性を改善する上で、独立の機関がどのように間接的な影響を及ぼすことが可能か ・意思決定過程がどのように進められるか ・政府政策がどのように策定されるか
8	① Ms. SIMONOVSKA Aleksandra ② D-10-04816 ③ 28 ④ 女性 ⑤ マケドニア	① マケドニア生産者連合(NGO) FFRM青年農業者組合チームリーダー ② 3年 ③ 3年 ④ 農業科学・食品学部 ⑤ BBBB なし	①・生産者団体および組合員の事業を統合し、近代的かつ民主的な権利の行使を可能にする ・持続的農業と生活の質の改善への貢献 ・組合員の求める活動の実施を支援 ・現状で可能な持続的農業を通して組合員の代表、伝達、教育を担う ②・青年農業者組合活動の調整 ・国内外の同様な団体との協力 ・青年農業者の労働条件改善および作業の質の向上	①・研修員間の意見交換、経験の共有 ・共通の目標、利益のためにグループ間の機能的なネットワークの構築 ・日本の農業部門に関する知識 ②・日本の農産物の生産、流通システムおよび貿易 ・日本の社会における青年農業者の役割

研修項目										時間配分 (%)
単元目標	課題	講義				視察・実習		討論		
1. 日本における農山村の現状・課題を説明できる	①日本の農山村における社会的・経済的な現状・課題	日本におけるフード・システムの展開	帯広畜産大学 教授 金山紀久	0.5					8	
		農村活性化と「協働セクター」	コースリーダー 佐々木 市夫	0.5						
	②社会資本整備の実態	農村地域の社会資本整備の現状	北海学園大学 教授 北倉公彦	0.5						
		補助金と金融制度の概要	帯広畜産大学 澤田教授	0.5						
2. 日本における農産物の生産・流通および貿易システムを説明できる。	①日本を含む世界の農産物の流通機構	EPA/FTAの利点と課題	コースリーダー 佐々木 市夫	0.5	生鮮食品の流通の実態（ダイイチ）	0.5		35		
		市場経済のグローバル化における戦略	コースリーダー 佐々木 市夫	0.5						
		農産物の流通機構と支援政策	帯広畜産大学 准教授 仙北谷康	1						
		野菜流通の現状と課題	酪農学園大学 教授 尾崎 亨	0.5						
	②生産資材の流通機構	生産者団体の役割（農協による経済事業）	帯広市川西農業協同組合	0.5	農畜産品のトラック輸送（㈱北海道運輸）	0.5				
		十勝の農産物の物流の現状	ホクレン農業協同組合連合会	0.5	十勝の農産物の鉄道輸送（JR北海道）	0.5				
					京都市中央卸売市場（京都青果合同㈱）	0.5				
					生鮮食品の市場（帯広地方卸売市場㈱）	0.5				
					中央卸売市場大田市場	0.5				
					農協事業による生産出荷の利点・弱点（細野ファーム）	0.25				
					個人事業による生産出荷の利点・弱点（野矢農場）	0.75				
	③価格形成の現状・課題	農業生産資材の流通と価格形成制度	北海道大学 教授 長南史男	0.5						
		農畜産物価格および営農にかかわる情報の流れ・種類	帯広畜産大学 教授 樋口 昭則	0.5						
	3. 日本における農産物の市場経済対応における協働セクターの活動を説明できる	①協働活動の現状・課題	欧州と日本の農業協同組合の比較	三重大学 教授 石田 正昭	0.5	地産地消運動への取組（JAめむろファーマーズマーケット）	0.25			35
			帯広の歴史と農業の概要、農家を取り巻く行政組織と生産者団体	十勝毎日新聞社 東條 隼士	0.5	農家女性の起業家グループ（つつじの会）	0.5			
						国産ワインの生産・販売・輸出（丹波ワイナリー）	0.5			
			生活協同組合によるトレーサビリティの推進	コープさっぽろ（帯広）	0.5					
		②社会関係資本（信頼醸成、安全網の形成など）・営農支援システム	生産者団体の役割（農協による信用事業）	帯広市川西農業協同組合	0.5	農協の販売関連施設～川西長いも洗浄選別施設等	0.5			
生産者団体の役割（農協による営農指導）			帯広市川西農業協同組合	0.5	チーズ工場見学（明治乳業十勝チーズ館）	0.25				
生産者団体の役割（農協による加工事業）			士幌町農業協同組合	0.5	農協主導型マーケティング手法（JA士幌町）	0.5				
北海道における営農支援システム			北海道地域農業研究所 黒澤 不二男	0.5	北海道農産物アンテナショップの見学	0.5				
農畜産物の地域ブランド			コースリーダー 佐々木 市夫	0.5	十勝ブランド認証農場（チーズ/共働学舎）	0.5				
日本における地域食品ブランドの認証制度			食品産業センター 二瓶 徹	0.5						
③農業情報共有システム/技術開発システム		農業情報システムの役割	十勝農業協同組合連合会 電算事業部長 福井 悟司	0.5						
4. 自国での農業分野における協働セクターによる農産物市場経済対応が可能な行動計画を策定できる		①南東欧諸国での市場経済化と農業構造	南東欧諸国の市場経済化と農業構造	明治学院大学 教授 阿部 望	1				22	
	②自国での課題分析				インセプションレポート発表	0.5				
	③所属部署の課題解決に関するインテリムレポートの作成				インテリムレポート・プレゼンテーション資料作成	0.5	課題解決ワークショップ①（レポートガイダンス） コースリーダー 佐々木市夫	0.5		
							課題解決ワークショップ②（課題提起） 北海道大学 教授 長南史男	0.5		
							課題解決ワークショップ③ 三重大学 教授 石田正昭/帯広畜産大学助教 和田大輔	0.5		
							課題解決ワークショップ④（レポート・プレゼンテーション個別指導） コースリーダー 佐々木市夫	0.5		
					インテリムレポート発表準備	0.5	課題解決ワークショップ⑤（プレゼンテーション作成のための総括） 帯広畜産大学 教授 樋口昭則/帯広市大正農業協同組合 員外監事 稲村裕文氏	0.5		
					インテリムレポート発表	0.5				
時間配分（%）				51		39		10	100	

**平成22年度 「南東欧地域 農業協働セクターの連携・活性化による農産物市場経済強化」
コース研修日程表(案)**

月日	曜日	時間		担当者	受入機関（所属）	実施場所
9/5	日		来日			
9/6	月		ブリーフィング		(社) 北方圏センター	帯広国際センター
9/7	火		ジェネラルオリエンテーション			
9/8	水		ジェネラルオリエンテーション			
9/9	木		日本語研修			
9/10	金		日本語研修			
9/11	土		休日			
9/12	日		休日			
9/13	月	9:00-9:30	市長表敬		帯広市	帯広市役所
		13:00-14:00	コースオリエンテーション	佐々木 市夫	帯広畜産大学 名誉教授	帯広国際センター
		14:30-16:30	インセプションレポート発表会		(社) 北方圏センター	帯広国際センター
		16:30-17:00	懇親会		(社) 北方圏センター	帯広国際センター
9/14	火	10:00-12:00	講義 帯広の歴史と農業の概要、農家を取り巻く行政組織と生産者団体	東條 隼士	十勝毎日新聞社	帯広国際センター、百年記念館
		13:30-15:30	講義 野菜流通の現状と課題	尾崎 亨	酪農学園大学	帯広国際センター
9/15	水	10:00-12:00	講義 補助金と金融制度の概要	澤田 学	帯広畜産大学	帯広国際センター
		13:30-15:30	講義 農村地域の社会資本整備の現状	北倉 公彦	北海学園大学	帯広国際センター
9/16	木	10:00-12:00	講義 農村活性化と「協働セクター」	佐々木 市夫	帯広畜産大学 名誉教授	帯広国際センター
		13:30-16:30	講義 課題解決型ワークショップ①（レポートガイダンス）			
9/17	金	10:00-12:00	講義 日本におけるフード・システムの展開	金山 紀久	帯広畜産大学	帯広国際センター
		13:30-15:30	講義 北海道における営農支援システム	黒澤 不二男	(社) 北海道地域農業研究所	帯広国際センター
		16:00-17:00	フライトミーティング		株式会社旅行総研	帯広国際センター
9/18	土	6:30-10:00	見学 生鮮食品の市場（帯広地方卸売市場）	日下 和彦	帯広地方卸売市場株式会社	帯広地方卸売市場
9/19	日		休日			
9/20	月		祝日（敬老の日）			
9/21	火	10:00-12:00	講義 農業生産資材の流通と価格形成制度	長南 史男	北海道大学	帯広国際センター
		13:30-16:30	討議 課題解決ワークショップ（課題提起）			
9/22	水	10:00-15:00	講義 農産物の流通機構と支援政策	仙北谷 康	帯広畜産大学	帯広国際センター
9/23	木		祝日（秋分の日）			
9/24	金		学校訪問			
9/25	土		休日			
9/26	日		休日			
9/27	月	10:00-12:00	講義 生産者団体の役割（農協による営農指導）	高田 啓二	J A 帯広かわにし	帯広市川西農業協同組合
		13:00-15:00	講義 生産者団体の役割（農協による信用事業）	大内 和美		
9/28	火	10:00-12:00	講義 生産者団体の役割（農協による経済事業）	部田 基雄	J A 帯広かわにし	帯広市川西農業協同組合
		13:30-15:30	見学 十勝川西長いも洗浄選別施設等（農協の販売関連施設）	常田 馨		帯広市川西農業協同組合別府事業所
9/29	水	10:00-12:00	講義 生産者団体の役割（農協による加工事業）		JA士幌町	士幌町農業協同組合
		14:00-16:00	見学 農協主導型マーケティング手法			
9/30	木	9:00-10:30	視察 農協事業による生産出荷の利点・弱点	細野 武美	細野ファーム	細野ファーム
		11:00-15:00	視察 個人事業による生産出荷の利点・弱点	野矢 敏章	野矢農場	野矢農場
10/1	金	10:00-12:00	講義 欧州と日本の農業協同組合の比較	石田 正昭	三重大学	帯広国際センター
		13:30-16:30	討議 課題解決ワークショップ③	石田 正昭	三重大学	
				和田 大輔	帯広畜産大学	
10/2	土					
10/3	日		移動（帯広⇒大阪）			

10/4	月	6:00-10:00	見学	京都中央卸売市場	前田 晶弘	京都青果合同株式会社	京都中央卸売市場
10/5	火	9:00-12:00	見学	国産ワインの生産・販売・輸出		丹波ワインハウス事業株式会社	丹波ワイナリー
		13:00-15:00	見学	農家女性の起業家グループ		園部町つつじの会	道の駅京都新光悦村
10/6	水			移動（京都⇒東京）			
		13:30-14:30	見学	北海道農産物アンテナショップの見学		北海道どさんこプラザ	北海道どさんこプラザ
10/7	木	10:00-12:00	講義	日本における地域食品ブランドの認証制度	二瓶 徹	食品産業センター	東京国際センター
10/8	金	10:00-15:00	講義	南東欧諸国の市場経済化と農業構造	阿部 望	明治学院大学	東京国際センター
10/9	土	7:00-9:00	見学	大田市場		中央卸売市場大田市場	大田市場
			移動	移動（東京⇒帯広）			
10/10	日			休日			
10/11	月			体育の日			
10/12	火	10:00-12:00	講義	農業情報システムの役割	福井 悟司	十勝農業協同組合連合会	十勝農協連農業情報センター
		13:30-14:30	視察	地産地消運動への取り組み 芽室ファーマーズマーケット「愛菜屋」視察		JAめむろ ファーマーズマーケット	JAめむろ ファーマーズマーケット
		15:00-16:30	視察	チーズ工場見学		明治乳業十勝チーズ館	明治乳業十勝チーズ館
10/13	水	10:00-12:00	講義	農畜産物の地域ブランド	佐々木 市夫	帯広畜産大学 名誉教授	
		14:00-16:00	視察	十勝ブランド認証農場（チーズ/共働学舎）	宮嶋 望	共働学舎	共働学舎新得農場
10/14	木	10:00-12:00	講義	生活協同組合による食の安全の取り組み	近岡 一詩	コープさっぽろ釧路地区本部	コープさっぽろ
		13:30-15:00	見学	生鮮食品の流通の実態	長谷川 隆弘	株式会社ダイイチ	株式会社ダイイチ白樺店
10/15	金	10:00-12:00	講義	EPA/FTAの利点と課題	佐々木 市夫	帯広畜産大学 名誉教授	帯広国際センター
		13:00-15:00	講義	市場経済のグローバル化における戦略			
10/16	土			休日			
10/17	日			休日			
10/18	月	10:00-12:00	講義	農畜産物価格および営農にかかわる情報の流れ・種類	樋口 昭則	帯広畜産大学	帯広国際センター
		13:30-16:30	討議	課題解決ワークショップ⑤（プレゼンテーション作成のための総括）	樋口 昭則	帯広畜産大学	
					稲村 裕文	JA帯広大正 員外監事	
10/19	火	10:00-12:00	講義	課題解決ワークショップ④レポート・プレゼンテーション個別指導	佐々木 市夫	帯広畜産大学 名誉教授	帯広国際センター
		13:00-15:00	講義	レポート・プレゼンテーション資料作成			
10/20	水	10:00-12:00	講義	十勝の農産物の物流の現状	向井 義人	ホクレン帯広支所物流課	帯広国際センター
		13:30-14:30	見学	十勝の農産物の鉄道輸送（JR貨物）			J R貨物帯広駅
10/21	木	10:00-12:00	見学	農畜産品のトラック輸送	駒月 義勝	(株) 北海運輸	(株) 北海運輸
		午後		レポート作成準備			
10/22	金	13:00-14:00		評価会		国際協力機構帯広国際センター	帯広国際センター
		14:30-16:30		レポート発表会		(社) 北方圏センター	
		16:30-17:30		閉講式、閉講パーティ		国際協力機構帯広国際センター	
10/23	土			帰国			

年度別受入実績表

1. 応募／選定(受入)人数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	累計
応募数	男性 4名 女性 1名	男性 4名 女性 3名	男性 5名 女性 3名	男性 13名 女性 7名
受入数	男性 3名 女性 1名	男性 3名 女性 3名	男性 5名 女性 3名	男性 11名 女性 7名

2. 研修員の出身国

○男性 ●女性

国 名				累計
アルバニア	○○○	○○	○○○	8名
セルビア・モンテネグロ				
セルビア		●	○○	3名
マケドニア旧ユーゴスラビア	●		●	2名
モルドバ				
ボスニア・ヘルツェゴビナ		○●	●	3名
コソボ				
ウクライナ				
クロアチア		●	●	2名
計	2ヶ国 4名	4ヶ国 6名	5ヶ国 8名	5ヶ国 18名